

英文の読み方を考えるⅧ

—従位接続詞 that の保持と削除①—

平井 正朗

従位接続詞 *that* は、いわゆる機能語として指示代名詞から転化したものであるが、後続する文構成要素を満たした〈完全な文〉を支配し、文内部に組み込まれると名詞節、もしくは副詞節として機能する。他の従位接続詞と比較すると共通点は、*that* が後続する支配領域の開始を明示する標識(marker)となるものの、その終点を示す標識がないこと、相違点は、*that* 自体、他の接続詞のような鮮明な意味はもたないということを指摘することができる。*that* 節は以下の3種類に大別される。(φ = *that* 削除可を表す)

(I) $S_1 + V_1 + X_1 + \text{that}[\phi] + S_2 + V_2 + X_2$

(II) $S_1 + \text{that}[\phi] + S_2 + V_2 + X_2 + V_1 + X_1$

(III) $\text{That} + S_2 + V_2 + X_2 + S_1 + V_1 + X_1$

これらは次のような読み方を指示していると言える。([] = 母型文, [] = 埋め込み文)

(I)' $[S_1 + V_1 + X_1 + [\text{that}[\phi] + S_2 + V_2 + X_2]]$

(II)' $[S_1 + [\text{that}[\phi] + S_2 + V_2 + X_2] + V_1 + X_1]$

(III)' $[[\text{That} + S_2 + V_2 + X_2] + S_1 + V_1 + X_1]$

読解では eye span の移動とともに、次のような文型の可能性を予測する必要がある。ただし、*that* が任意、もしくは強制的に削除され得ることも視野に入れておかなければならない。

(I)" ① $[S_1 + V_1 + [\text{that}[\phi] + S_2 + V_2 + X_2]]$

⇒ SVO (V = 他動詞) / SVC (V = 自動詞) の可能性を疑う。cf. SVC の場合、 $S_1 + V_1, S_2 + V_2 + X_2$ の可能性もあり得る。

② $[S_1 + V_1 + N_1 + [\text{that}[\phi] + S_2 + V_2 + X_2]]$

⇒ SVOO / SVO [+ 同格名詞節] の可能性を疑う。

③ $[S_1 + V_1 + X_1 + [\text{that}[\phi] + S_2 + V_2 + X_2]]$

⇒ SVXM [= 感情の判断・判断の根拠] の可能性を疑う。

④ $[S_1 + V_1 + X_1 + [\text{前置詞} + \text{that} + S_2 + V_2 + X_2]]$

⇒ SVXM の可能性を疑う。(前置詞は *in, except, but* など少数)

⑤ $[S_1 + V_1 + \text{so}(\text{such}) + X_1 + [\text{that}[\phi] + S_2 + V_2 + X_2]]$

⇒ SVXM の可能性を疑う。cf. *so ~ that* ... 構文については、*so* が情報予告の標識となる。

⑥ $[S_1 + V_1 + \text{it} + C_1 + [\text{that} + S_2 + V_2 + X_2]]$

⇒ SVOC の可能性を疑う。(it は後方照応語句)

(II)" $[S_1 [= N_1] + [\text{that}[\phi] + S_2 + V_2 + X_2] + V_1 + X_1] \Rightarrow S[+ \text{同格名詞節}] VX$ の可能性を疑う。

(III)" ① $[[\text{That} + S_2 + V_2 + X_2] + V_1 + X_1]$

⇒ SVX の可能性を疑う。(V₁ の前に S₁ が欠落しているように知覚できる)

② $[[\text{That} + S_2 + V_2 + X_2] + S_1 + V_1]$

⇒ OSV の可能性を疑う。(V₁ の後に O₁ が欠落しているように知覚できる)

that 節が名詞節で S になる場合、原則として *that* が削除されることはない。

(01) *That we should live in balance with the earth is not a new idea.* (同志社大)

(我々が地球と調和して生きてゆくべきであるということは、新しい考え方ではない)

文の S となる *that* 節が右方移動した場合も同様である。

(02) *Most significant, climate scientists say, is that this year's level of heat occurred without the help of a major El Nino event.* (宮崎大)

(気象学者たちによれば、最も重要なことは、今年の暖かさが大規模なエルニーニョ現象の助けなしに起こったことである)

that 節が名詞節で O になる場合、*that* が削除さ

れることもある。談話レベルでは *that* の削除は進んでいるようである。特に1人称のSと結合している場合、上記の言語現象を頻繁に観察することができる。

(03) In the beginning, we humans did not settle away from each other. We did not keep to ourselves or to lonely, outer borders. We were curious, drawn to one another, comforted by our similarities and inspired by our differences. We are still that way, *I think*.

(京都大)

(最初、私たち人間は、お互いから隔たって住むということはなかった。私たちは自分たちの内側に閉じこもることもなければ、人気のない、遠く離れた境界の中に閉じこもることもなかった。私たちは好奇心旺盛で、お互いに引かれあい、類似点に安らぎを見出し、相違点にときめいたものだった。今でもそんなふうだと私は思う)

(03)の場合、学校文法では、*I think that* ~の従位接続詞 *that* が削除されて、主節 *I think* が遊離、文末移動したという説明がなされてきたが、ここでは、*I think* が主節である文型を移動させたのではなく、文構成素の比重を逆転させ、*I think* が主体表現を表す *certainly* や *surely* などと同類の副詞要素として処理する認知文法に基づく文化化 (*grammaticalization*) という概念を支持したい。

(04) I'm interested in people I know and I'm interested in things that I think are important and not very interested in things that somebody comes along and tells me *that* I have to be interested in. (東京外大)

(< I think *that* things are important)

(< somebody comes along and tells me *that* I have to be interested in things)

(私は自分が知っている人に関心をもち、また自分が重要だと思うことに関心をもつが、誰かがやって来て、私に関心をもたなければならないと言うことにはあまり関心がない)

連鎖関係詞化において、*that* は強制削除しなければならない。これは、従位接続詞 *that* がその右側に支配領域をもち、支配領域の構成要素は従位接続詞を超えて移動することができないという制約による。*that* を削除せず、この規則を無視して生成された構

造は、*that* が関係代名詞として機能し、二重限定として機能するため、関係詞連鎖としては非文法的であるが、破格も見受けられる。(04)の場合、*somebody comes along and tells me that I have to be interested in things* を連鎖関係詞化するには、従位接続詞 *that* を強制削除しなければ二重限定の構造に変換し、選択制限に違反することになる。

(05) I've never felt, on the other hand, though a great many people who didn't grow up reading books have perhaps felt it, *that* writing is what those other, 'writerly' people do.

(東京大)

(他方、本を読んで育たなかったかなり多くの人々は、おそらく、文章を書くことがその他の '物書き向きの' 人がすることであると感じてきたであろうが、私はそのように感じたことは一度もなかった)

V と *that* 節の間に M があるときは、主文が〈優勢〉になる傾向があるため、通例、*that* が削除されることはない。(05)では、*that* 節は *felt* の O となっている。なお、ここでの *it* は *that* 節を指示する後方照応の機能を果たしている。

(06) They didn't need a number to know they didn't have any cows and *that* they didn't have to pay any tax. (筑波大)

(彼らは自分たちが牛を1頭も持っていないということ、そして全く税金を払う必要がないということを知るための数字は必要としなかった)

複数の *that* 節が等位接続詞によって並列される場合、原則として2つ目の *that* が削除されることはない。*that* が削除されると、統語的曖昧性が発生するためである。

(07) Another possible encouragement to wonder is *that*[ϕ] Australia has a distinctive light, far brighter than elsewhere, *that* helps the country's sights to seem like a brilliant illusion. (同志社大)

(おそらくもうひとつの驚嘆の念を促すものは、オーストラリアは他のいかなる場所よりもはるかに明るい独特な光があり、国の風景をきらきらした幻想のように見せるのに役立っているということである)

that 節が名詞節で C になる場合、that が削除されることもあるが、通例、保持されることが多い。sense group となる that 節が不明瞭にならないようにするための音韻的効果と言える。

- (08) There are many signs *that* [ϕ] the earth's natural systems are approaching the limits of their ability to cope with growing human numbers, and advanced technology is rapidly using up natural resources. (関西学院大)
(地球上の自然体系が増大しつつある人間の数に対応できる能力の限界に近づきつつあるという多くの兆候があり、しかも先進的な科学技術が天然資源を急速に食い荒らしている)

N + that + S'V'X' の同格構造の場合、容認性は低いが that が削除されることもある。通例、N と節の関係を示すために that は保持される。

- (09) All languages are equal in the sense *that* [ϕ] there is nothing especially limiting about any of them, *that* they all meet the social and psychological needs of their speakers, and *that* they are equally deserving of scientific study. (北海道大)
(すべての言語は、どの言語に関しても特に制約となるものがないこと、その話者の社会的・心理的要求を満たしていること、そしてどれも等しく科学的研究に値することという意味で対等である)

(09) のように、同格の名詞節が等位接続詞によって並列される場合、2 目以降の that を削除すると非文法的になる。また、(10) のように that の直後に M がある、N + that + M' + S'V'X' の構造の場合、通例、that が削除されることはない。

- (10) Morrow and the other officers would have been even more impressed had they been able to foresee *that* several years later a delegation of Japanese notables, paying a return visit to America, would present to the president of the United States an *improved* version of the Sharps rifle that Perry had given to the shogun's officials. (大阪大)
(数年後、アメリカに答礼訪問した日本の要人代表団が、ペリーが将軍の家臣に贈ったシャープス銃の

改良型を合衆国大統領に献上することになるのを予見できていたら、モローと他の下士官はなお一層感銘を受けていただろう)

- (11) News had already spread across this sleepy bayside village far out on Long Island *that* the strange genius with wild hair considered himself a sailor and had rented a summer cottage overlooking the bay. (岡山大)
(ロングアイランドのはるか遠くの、この眠くなるような浜辺の村中に、ぼさぼさ頭の奇妙な天才が自分をヨットマンと考えて、湾を見渡す夏の別荘を借りたというニュースがすでに広まっていた)

(11) のように同格の名詞節が外置され、NVX + that + S'V'X' の構造の場合も that が削除されることはない。

- (12) Nearly all of us have regional features in the way we speak English, and are happy *that* [ϕ] this is so, although of course there are upper-class people who have regionless accents, as well as people who for some reason wish to conceal their regional origins. (滋賀大)
(我々のほとんどすべてが英語の話し方に地域的な特徴があり、それはそれでよいとしているが、一方で、もちろん、地域性のないなまりのある上流階級の人もいれば、何らかの理由で自分の地域なまりを隠したい人もいる)

(12) のように that 節が副詞節で「感情の判断」「判断の根拠」を表す場合、that が削除されることもある。なお、(13) のように that の前に M があるときは、通例、that が削除されることはない。

- (13) He got up and left, fully *aware* as he paid at the cash register and walked outside *that* her eyes would follow him. (明治学院大)
(彼は立ち上がり、そこを離れ、彼女の目が彼を追っていることを十分意識しながら、レジで支払いを済ませ、外に出て行った)

(龍谷大学付属平安中高等学校校長補佐)